

坂元区でさつまいもの植え付け 地域住民や高校生が交流深める

6月2日、坂元区で地域住民が参加してさつまいもの植え付けが行われました。住民の交流促進を目的に活動する坂元地域活動クラブの主催で開かれ、地域の大人や子ども約30人が参加。小林秀峰高校の2年生5人もボランティアとして参加し、地域住民に教わりながらクワで畝を作ったあと、丁寧にさつまいもの苗を植えていました。



参加した秀峰高校2年の松元大翔さんは「クワで畝を作るのは思った以上に大変。いろいろなことを教えてもらい勉強になった」と話していました

プロ野球OBが一流の技術を指導 小中学生向け野球教室

5月26日、総合運動公園市営野球場で元プロ野球選手が指導する全国少年少女野球教室が開催されました。講師を務めたのは本市出身の本村信吾さんやゴールデングラブ賞を獲得した経験をもつ高木浩之さんなど計8人。教室には市内や高原町の小中学生約150人が参加し、打撃や守備の基本技術や自宅のできる練習方法などを学びました。



参加した鶴戸咲太郎さん（小林中3年）は「バッティングや守備など学ぶことが多かった。教わったことを生かして中体連に臨みたい」と話しました

宮崎サンシャインズが表敬訪問 縁起の良い小林での活躍に期待

6月4日、県内初のプロ野球独立リーグ球団「宮崎サンシャインズ」の選手が市長を表敬訪問しました。同球団は、野球を通じた宮崎の活性化やNPB（日本野球機構）入りを目指す若者のサポートなどを目的とした県民球団として創設され、昨年九州アジアリーグに参入。総合運動公園市営野球場でも6・7月に14試合が開催されます。



金丸将也監督兼選手（写真左）は「昨年3勝を上げるなど市営野球場は縁起の良い球場。監督・選手一丸となって今年もがんばりたい」と話していました

子どもたちを交通事故から守って 市民有志が小学校などに旗を寄贈

5月27日、市民有志が交通安全意識の高揚を図るためののぼり旗99枚とポール15本を野尻地区の小学校と小林地区交通安全協会野尻支部に寄贈しました。同日行われた贈呈式では永田晃一さんが有志を代表し「近ごろ野尻地区で交通事故が非常に多い。子どもたちを事故から守るため活用していただければ」と寄贈への思いを話しました。



交通安全協会野尻支部の下村孝一支部長は「最大限活用してこの地域から交通事故が1件でも少なくなるよう活動したい」と感謝していました

メロン・マンゴーフェア実行委員会が めろめろメロン・太陽のタマゴ贈呈

5月12日、メロン・マンゴーフェア実行委員会（下村孝一委員長）が、「めろめろメロン」と「太陽のタマゴ」を市長に贈呈しました。4月の長雨の影響で生育不良が心配されたものの、今年も無事にフェアを開催。下村委員長は「農家さんの苦勞の甲斐もあり、綺麗なメロンとマンゴーができた。ぜひご賞味いただければ」と話していました。



今年のメロン・マンゴーフェアは4月15日～4月26日の期間に電話やインターネットで注文を受け付け。合わせて9,885ケースを売り上げました

災害時に物的・人的支援 社協と青年会議所が協定締結

5月17日、小林市社会福祉協議会（吉丸政志会長）と小林青年会議所（内田遼理事長）が災害時における協力体制に関する協定を結びました。協定は、市社協が災害時に必要に応じてボランティアセンターを設置した際に同会議所が物的・人的支援を行うことで、迅速かつ効率的な被災地支援活動が展開されることを目指しています。



締結式で内田理事長は「大規模災害などが発生した際にどういった準備が必要なのかを考え、共有することで有事に備えたい」と意気込みました

生きがい学級合同開級式・演芸大会 各学級の参加者が親睦を深める

5月23日、文化会館で生きがい学級合同開級式・演芸大会が行われました。生きがい学級は、高齢者が生きがいを持ち、日々充実した生活を送るための生涯学習の場として、小林・須木・野尻3地区の計9学級で講座を開講しています。開級式後に開かれた演芸大会では、各学級の参加者が、合唱や踊り、演奏などを披露し親睦を深めました。



生きがい学級では、視察研修や3地区合同のグラウンド・ゴルフ大会も開催しています。年度途中の加入も可能です（●問＝社会教育課 Tel.22-79112）

姉妹都市能登町への支援広がる 西諸県地区測量設計業協議会が義援金

5月23日、小林市とえびの市の測量設計業者でつくる西諸県地区測量設計業協議会（大脇信明会長）から市長に、能登町への義援金20万円の目録が手渡されました。義援金は、市を通じて能登町へ贈られます。大脇会長は「困っている方のために活用してもらえれば、被災地を想う気持ちが伝わればうれしい」と話していました。



5月2日に町内全域で断水が解消するなど、一歩ずつ復旧・復興の歩みを進める能登町。義援金は市で取りまとめ、随時能登町へと送金する予定です

手羽先世界一を決めるサミットで 天下一手羽先が殿堂入りの快挙

全国から手羽先唐揚げの人気店が集まり世界一を決める祭典「手羽先サミット」の第10回が愛知県であり、天下一手羽先（平良誠一代表）が全国7店舗目の殿堂入りを果たしました。6月19日、市長に結果を報告。平良代表は「県産にこだわり、地元のものを広めたいという気持ちでやってきた。もっとその良さを広めていきたい」と話しました。



同店は、令和3年に初参加でグランプリを獲得。今回2回目の金賞総合2位を獲得したことで大会規定を満たし、見事殿堂入りを果たしました

地域の歴史に想いを馳せる 橋谷地区で木崎原合戦を学ぶ講話

6月13日、地元の歴史に詳しい尾前健太郎さん（えびの市）を講師に、橋谷地区公民館で木崎原の戦いについての講話が開かれました。同合戦はえびの市を中心に伊東氏と島津氏によって戦われ、橋谷地区の粥餅田で最後の死闘が繰り広げられました。地域の歴史を知り、住民同士の絆を高めようと開催され、約20人が約450年の昔に想いを馳せました。



粥餅田の地名は、戦いが終わった後に島津方の女性たちが粥を持ち兵士たちに与えたことが由来とされ、粥餅田古戦場跡は市指定史跡にもなっています

元協力隊倉岡カルロスさんの指導受け 九州国際柔術選手権で優勝

6月7日、大木場俊弘さん（南小校長）と倉岡和也さん（細野中3年）が、5月の「九州国際柔術選手権」での優勝を市長に報告しました。2人は、元地域おこし協力隊で著名な柔術家の倉岡ジョンカルロス博さんの指導のもと、市内で練習を重ねています。大木場さんは大会初挑戦で優勝、和也さんは全試合一本勝ちで優勝を決めました。



柔術をはじめ4年の大木場さんは「50代になっても新しい技を覚え、上達できるところが魅力。柔術の仲間が増えたらうれしい」と話していました

父の日に「牛乳」を贈ろう！ 酪農家が牛乳・乳製品をPR

6月4日、小林市と高原町の酪農家31戸でつくるこばやし地区酪農部会が市長を表敬訪問し、牛乳を贈呈しました。これは父の日を前に、「父」と「乳」をかけて、牛乳や乳製品の消費拡大につなげようと同団体が毎年行っているもの。贈呈後は、飼料高騰などで厳しい状況が続く酪農家の現状について意見が交わされました。



永田一喜副会長（写真中央）は「良いものをつくるために誇りを持って努力している。牛乳や国内産の乳製品に目を向けられたい」と話していました

地域の防災力向上へ講座開講

6月15日、自主防災組織の担い手を育成し地域防災力を高める講座の第1回が、地域防災センターでありました。区長など38人が受講し、自主防災組織の効果的な活動について学習。全4回の講座を通じ、地域防災計画の作成などにつなげることをしています。



ハーブの香りで生活に彩りを

5月19日、薬草とハーブを身近に感じてほしいと企画されたイベント「NOJIRI ハーブマルシェ」が県薬草・地域作物センターで開催されました。当日はハーブを使ったグルメ屋台やワークショップなどが催され、来場者はハーブの香りを楽しみました。



体験通じ共生社会について考える 野尻中3年生が車いすバスケットに挑戦

6月13日、野尻中学校で車いすバスケットボールの体験学習が開かれました。一人一人の考えや生き方を尊重し、互いに支え合う素晴らしさを学んでほしいと企画され、3年生36人が参加。生徒は、宮崎車椅子バスケットボールクラブ（甲斐義喜代表）の選手にルールや車いすの操作を教わった後、チームに別れて試合を体験しました。



体験した田中美裕さんは「車いすで思ったよりもスムーズに動いて驚いた」、長瀬仁さんは「バスやシュートが難しかったが楽しかった」と笑顔でした

株式会社 C・A・B が 市政の発展のため 100 万円を寄付

6月7日、ミネラルウォーターの製造・販売を行う株式会社クリーン・アクア・ビバレッジ（本坊修代表取締役会長）が市に100万円を寄付しました。贈呈式で本坊会長は「小林の素晴らしい水と市民の皆さんのおかげで、地元へ貢献できる企業にさせていただいた。今後も貢献し続けられるよう発展していきたい」と話していました。



株式会社クリーン・アクア・ビバレッジからは平成27年以降毎年寄付をいただいております。今年で10回目。寄付は市政の発展のため活用されます

地婦連が市長・教育長へ花束を贈呈

6月19日、市地域婦人連絡協議会（上原裕子会長）が、父の日訪問として日ごろの感謝の気持ちを込めた花束を市長と教育長へ贈呈しました。県地域婦人連絡協議会が知事に花束を贈呈したことをきっかけに、平成14年から毎年続く取り組みです。



歯や口の健康への知識を深めて

6月15日、第35回歯と健康みんなの集い（小林えびの西諸歯科医師会・小林市共催）が中央公民館で開催されました。子どもたちのフッ化物塗布や歯みがき指導、大人の歯科健診などが行われ、参加者は多彩な催しを楽しみながら、歯の健康について考えました。

